

令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 環境政策課

担当名: 計画推進・環境影響評価担当

内線: 3019

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B5	環境学習推進事業費			一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	環境学習推進費	
事業期間	平成 5年度～	根拠法令	環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律、埼玉県環境基本条例	宣言項目		10	新たなエネルギー社会の構築	SDGsゴール	
				分野施策		051142	環境に優しい社会づくり	SDGsターゲット	
1 事業概要			5 事業説明						
<p>環境への負荷を軽減し、自然がもたらす恵みを楽しむためには、県民の意識や生活スタイルを変革することが急務である。このような中で、環境について正しく理解し、環境を守ろうとする態度を養うための学習機会をより一層充実させることが不可欠である。</p> <p>平成24年10月の環境教育等促進法の施行を受け、県民各層の連携のもと、環境保全への意欲の増進や学校や職場における環境学習の支援の充実を図り、「環境にやさしい県」を支える人づくりを推進する。</p> <p>(1) 人材登録制度による環境学習の支援 △843千円 (3) 環境学習連携推進業務 △401千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 人材登録制度による環境学習の支援 3,356千円 → 2,513千円 環境アドバイザーの活動回数: 延べ410回 (通年)</p> <p>イ 環境学習応援隊派遣 (随時) 20千円 ウ 環境学習連携推進業務 1,102千円 → 701千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 環境学習等に関する地域の中核的な活動者を「環境アドバイザー」として登録し、地域人材や環境学習事例の情報発信を充実するとともに、登録人材間の交流を深め、地域での環境学習の促進を図る。</p> <p>イ 企業等のもつ優れたノウハウを活用することで、学校だけでは対応しにくい環境教育の進展を図る。</p> <p>ウ 環境学習に関する関係課連絡会議を基に、県の環境学習施策の取組の現状及び課題を把握するとともに、環境学習に関する体系的な広報等、総合的・効果的・効率的な施策の推進を行う。</p> <p>(3) 事業効果 環境アドバイザー・環境学習応援隊派遣件数 435回 (環境アドバイザー410回、環境学習応援隊25回)</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況</p> <p>ア 環境問題に関する専門的な知識や豊富な経験をもつ県民と協働 イ 環境学習応援隊登録企業等との協働により、学校で行われる環境学習を支援</p> <p>(5) 補正予算の概要</p> <p>ア 新型コロナウイルス感染症によるアドバイザー活動減に伴う減額 △483千円 イ 新型コロナウイルス感染症による研修会・会議等中止に伴う減額 △270千円 ウ 経費節減による減額 △491千円</p>						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 普通交付税 (包括算定経費) (区分) 企画費 (細目) 環境保全対策費 (細節) 環境保全対策費 (積算内容) 地域の実情に応じた環境保全対策									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.0人=9,500千円									
予算額			財 源 内 訳					一般財源	補正後の 予算額
決定額	△1,244	△1,196						△48	3,234
現計額	4,478	4,430						48	